

## 概 況

『子どもの時代に子供らしい体験を重ねること、四季折々の変化を体で感じながら心を耕していくことは、人間が成長していく上で欠かせない貴重な財産であるに違いない』

この財団設立の“人づくり”の理念の基、定款第4条第1項1号に掲げる公益目的事業は、“かけがえのない自然を、人間の知恵で、後世に永く残せるように、何をなすべきなのか”を子ども達と共に考える自然体験活動「子どもまちなか生き物塾」を守屋 開先生を総合コーディネーターとして実施しました。

併せて、普及活動の一環として進めているの「青山慎一先生の子ども世界の昆虫館」もWEB公開を始めてから5年が経過し、公開標本箱数1,000箱、公開標本点数84,443点を数えました。

その他、国立国会図書館インターネット資料収集保存事業（WARP）にて当財団のWEB情報も収集・保存・公開されております。この記録された内容は百年単位、千年単位にわたって利用できる状態で保存されるとのことです。

詳細は第1 平成30年度 事業の状況のとおりです。

## 30年度 事業の状況

1、定款第4条第1項1号に掲げる事業は、次により行った。

### ●子ども自然体験活動（公益目的事業1）

#### （1）「子どもまちなか生き物塾」

##### ①活動名

- オリジナルバージョン ～精進川の水生生物と命のつながり～  
精進川の自然に遊んで科学する！（自然遊）  
精進川の源流から川の一生を体験しよう！（川一生）
- スペシャルバージョン ～海の日スペシャル・山の日スペシャル  
磯遊びをとおして生命進化の神秘を探る！（磯遊び）  
石は語る 地質観察をとおして札幌の成り立ちを探る！（石は語る）

##### ②活動日

活動名	活動日
S/磯遊び	7月16日
O/自然遊	7月28日
O/川一生	8月11日
S/石は語る	9月2日

##### ③募集対象

- ・小学生、中学生、保護者 ※9/2「石は語る」のみ小学5年・6年に限ります
- ・小学3年生以下は保護者同伴が必要

##### ④募集地区

- ・札幌市

##### ⑤募集方法

- ・札幌市内小学校へのチラシ配付

##### ⑥名義後援・協力

- ・S/磯遊び
  - 後援 札幌市、札幌市教育委員会
  - 協力 札幌市立中の島小学校、中の島一区第3町内会
- ・O/自然遊
  - 後援 札幌市、札幌市教育委員会、  
中の島魅力ある地域づくりの会
  - 協力 札幌市立中の島小学校、中の島一区第3町内会
- ・O/川一生
  - 後援 札幌市、札幌市教育委員会、

中の島魅力ある地域づくりの会

協力 札幌市立中の島小学校、中の島一区第3町内会  
 S/石は語る 後援 札幌市、札幌市教育委員会  
 協力 札幌市立中の島小学校、中の島一区第3町内会

⑦参加者数

塾名	参加人数			計画人数		
	子ども	大人	計	子ども	大人	計
S/磯遊び	26	4	30	30		30
O/自然遊	25	5	30	30		30
O/川一生	24	6	30	30		30
S/石は語る	26	4	30	30		30
合計	101	19	120	120		120

※S/磯遊びは、札幌市内小学校 19 校から参加  
 ※O/自然遊は、札幌市内小学校 19 校から参加  
 ※O/川一生は、札幌市内小学校 18 校から参加  
 ※S/石は語るは、札幌市内小学校 16 校から参加

⑧事業費

・S/磯遊び	実績	計画(ゆめ基金申請時)
*事業費計	346,875 円	390,691 円
(内、子どもゆめ基金助成金	222,000 円)	
・O/自然遊		
*事業費計	207,324 円	241,429 円
(内、子どもゆめ基金助成金	141,000 円)	
・O/川一生		
*事業費計	248,720 円	320,129 円
(内、子どもゆめ基金助成金	171,000 円)	
・S/石は語る		
*事業費計	334,296 円	367,775 円
(内、子どもゆめ基金助成金	212,000 円)	
*事業費総合計	1,137,215 円	1,320,024 円
(内、子どもゆめ基金助成金	746,000 円)	
(自己資金	391,215 円)	

⑨活動場所

活動名	活動場所
S/磯遊び	忍路海岸、北大忍路臨海実験所
O/自然遊	豊中公園沿い精進川、中の島小学校理科室

O/川一歩	精進川源流（最上流域）から下流域まで
S/石は語る	藻南公園、石山緑地、硬石山、砥山河原

⑩主な活動内容

S/磯遊び	ねらい	生物の種類の多様性について、採集体験をしながら学習します。海に棲んでいる様々な生き物を観察し、採集した生物を顕微鏡等を使って観察・同定（種類を調べる）作業をしながら、この地球上にいる生物の多様性がいかに必要か視野を広げます。
	磯採集	忍路の浜で磯採集（巻貝や二枚貝、イソギンチャクやヤドカリ、クラゲ、カニや小魚、プランクトン等）
	採集した生物等の同定	採集した生物を顕微鏡等を使って観察・同定
	分類パズル、飼育方法解説、生命進化のお話	守屋講師による分類パズル、飼育方法の解説、生命進化についてのお話

O/自然遊	ねらい	街中を流れる精進川やその河畔林に生息する生物の観察・採集や環境調査・土壌採取をとおして、自然界の仕組み（命のつながり）や河川生態系について学び、かけがえのない自然を後世に永く残せるように、何をなすべきなのかを考えます。
	水生生物の観察・採集	精進川の水生生物を採集し、ルーペ等を使用してどんな水生生物が生息しているのかを観察します。
	河畔林の環境調査・土壌採取	対岸にある精進川河畔林の環境調査（気温・地温・水温・pH・）と合わせて木の葉採集・動物採集・土壌採取を行います。
	生物の分析と同定、解説	採取した土壌を簡易ツルグレン装置を使って土壌動物採捕や採集した生物等を顕微鏡等を使って同定作業を行うと共に、守屋講師の『精

		進川の水生生物と命のつながり』についての解説。
O/川一生	ねらい	サクラマスの上流も確認されている街中を流れる精進川の源流部から下流域までを探索しながら、豊平川の支流としての「川の一生」を体験します。河川の上流から下流にかけて、水質や生息生物も変化することを確認し、環境に適応して生息する生物について学びます。
	環境調査及び「川の一生」体験	上流域（源流部）、中流域、下流域の環境調査（気温・水質・流速流量等）をして、その違いを確認しながら「川の一生」を体験します。
	水生生物等の採集	上流域、中流域、下流域、それぞれの水生生物の採集や樹木や草木の違いを観察し、環境の違いにより生物の生息状況も変化することを確認します。
	カワシンジュガイの学習	精進川において絶滅が確認されたカワシンジュガイの生息していた森林溪流を観察し、カワシンジュガイの生息環境条件を確認しながら、サクラマスとの関係について学び、絶滅した原因について考えます。
S/石は語る	ねらい	豊平川を下流から上流に遡りながら、地形、露頭や岩石の観察、化石の採取を行い、どの時代にどのような自然現象が起きたかを調べ、札幌のジオストーリーをつくります。
	石の採取	砥山河原にて石を採取し鉱物や化石を探します。
	採取した石の観察と札幌のジオストーリーを作成	採取した石を観察し、試料からわかる事をグループでまとめた後、発表しあい、それらを統合・総合化して札幌のジオストーリーをつくります。

⑪講師・指導者数

活動名	外部講師・指導者等	財団講師・指導者	計
S/磯遊び	4	7	11
O/自然遊	2+2	6	8+2
O/川一生	2	6	8
S/石は語る	6	5	11

合計	14+2	24	38+2
備考	+2 は協力者		

⑫講師・指導者名

・S/磯遊び

主任講師	守屋 開	総合コーディネーター、 札幌市立青少年科学館講師 財団評議員
講師	高桑 純	日本生物教育会
講師	横山 武彦	財団評議員
財団指導者	岡田 祐一	理事
財団指導者	嶋田 肇	理事
財団指導者	向 俊孝	理事
財団指導者	寺田 一仁	理事長
財団指導者	下川 和昭	事務局長
外部指導者	佐藤 勝信	前事務局長
外部指導者	下川 正己	前日立情報北海道本部長
外部指導者	齋藤優美子	看護師

・O/自然遊

主任講師	守屋 開	総合コーディネーター、 札幌市青少年科学館講師 財団評議員
財団指導者	岡田 祐一	理事
財団指導者	嶋田 肇	理事
財団指導者	向 俊孝	理事
財団指導者	寺田 一仁	理事長
財団指導者	下川 和昭	事務局長
外部指導者	宮本 辰男	平岸小理科実験アシスタント
外部指導者	佐藤 勝信	前事務局長
外部協力者	向 良子	中の島一区第3町内会
外部協力者	高橋 清子	中の島一区第3町内会

・O/川一生涯

主任講師	守屋 開	総合コーディネーター、 札幌市立青少年科学館講師 財団評議員
財団指導者	岡田 祐一	理事
財団指導者	嶋田 肇	理事

財団指導者	向 俊孝	理事
財団指導者	寺田 一仁	理事
財団指導者	下川 和昭	事務局長
外部指導者	下川 正己	前日立情報北海道本部長
外部指導者	斎藤優美子	看護師
・S/石は語る		
主任講師	岡本 研	東海大学札幌教授
講師	宮嶋 衛次	千歳科学技術大学教授
		財団理事
財団指導者	嶋田 肇	理事
財団指導者	向 俊孝	理事
財団指導者	寺田 一仁	理事長
財団指導者	下川 和昭	事務局長
外部指導者	高橋 恭輔	東海大学札幌地学サークル
外部指導者	柴田 康暉	東海大学札幌地学サークル
外部指導者	石井 晏和	東海大学札幌地学サークル
外部指導者	宮崎 泰地	東海大学札幌地学サークル
外部指導者	兼平 翔守	東海大学札幌地学サークル

⑬募集案内配付箇所及び枚数

配付先区分	学校数	配付枚数
札幌市内小学校	76	21,100
予備、他		200
合計	76	21,300

⑭その他

ア、申し込み手段

メール	115 件	178 人 (89%)
ファックス	14 件	22 人 (11%)
電話	なし	
計	129 件	200 名
その他	4 人	(迷惑メールに仕分け)

(2) 自然体験学習の普及に係る情報発信活動

①青山慎一先生の子ども世界の昆虫館

・WEBにて公開箱数

年度	チョウ	ガ	コウチュウ	ザツチュウ	計
平成 26 年度	200	0	0	0	200
平成 27 年度	253	42	0	0	295
平成 28 年度	149	30	58	56	293
平成 29 年度	162	59	0	0	221
平成 30 年度	0	0	0	0	0
平成 31 年度	0	0	0	0	0
合 計	<b>764</b>	<b>131</b>	<b>58</b>	<b>56</b>	<b>1009</b>

・事業費

謝金	50,000 円
委託費 更新料	233,280 円 (19,440 円×12 ヲ月)
計	283,200 円

②自然体験活動(こどもまちなか生き物塾)の様子紹介

<活動のようす>を HP にて、スライド及び動画にて紹介

(3) ホームページ訪問者数調べ (平成 31 年 4 月 1 日 11 : 00 現在)

ア、最近の 365 日

訪問者	1,650 人
一日当たり	4.5 人
訪問ページ	11,769 ページ
一人当たり	7.1 回

イ、ページ訪問数ベスト 5 (最近の 1 年間)

1 子どもまちなか生き物塾	1,367
2 子ども世界の昆虫館	289
3 自然体験活動アーカイブ	
子どもまちなか生き物塾	85
4 海のスペシャル磯遊び	25